

グラスフィールドカップ
第十回 久留米市長杯 ‘2012復興大会へのご案内

未曾有の大震災の犠牲になられた多くの被災者の皆様のご冥福を心からお祈りいたします。
一年が過ぎようとする今「がんばろう日本」のもとに多くの方が復興への道程を歩み始めました。

私たちグライダー山スカイスポーツ倶楽部 部員も昨年の大会自粛の轍は踏まないようにと多くの事を語り合い、いまフライヤーとして出来る復興への応援や支援の一助となれるような2012年の大会開催を決定し関係各位にご案内申し上げます。

毎年 後援を頂いている久留米市（市長杯）や地元草野町の皆様とともに、またフライヤーの統括団体の公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟の後援と義援金の呼びかけに歩調を合わせ、東日本大震災復興の応援と支援のチャリティー大会を開催する運びとなりました。

グラスフィールドカップ
【第十回 久留米市長杯in グライダー山 ‘2012】

略 称 【グラスフィールド・カップ’復興チャリティー大会】

を開催致します。

本大会の運営はグライダー山スカイスポーツ倶楽部 部員のボランティアとしフライヤーの皆様のエントリー費はその全額を震災復興の義援金と致します。また合わせて大会当日は義援募金箱も準備しますのでご賛同の皆様の多くの協力をお願い申し上げます。

今大会ではエントリー選手の入賞者の皆様には公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟よりの賞状と名誉の授与しかできませんが、大会実行委員会の趣旨をご理解いただき多くのフライヤーの皆様の応援・支援のエントリーをお願いいたします。

大会当日はお時間の都合をつけて頂きお友達お知り合いほかお誘い合わせの上、久留米市草野町耳納連山グライダー山エリアにお運び頂けますようお願い申し上げます。

記

日 時 2012年4月 日（日）
9時30分より開会式（ランディングゾーン）
10時30分よりフライト開始（久留米市草野町グライダー山テイクオフ）

場 所 開会式 パラグライダー・ランディングゾーン
テイクオフ場所 グライダー山山頂・テイクオフゾーン
フライト場所 耳納連山～草野町～筑後平野上空一帯

後 援 ・久留米市・久留米観光コンベンション国際交流協会
・草野町商工振興会・草野校区コミュニティセンター
・公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟
・福岡県ハング・パラグライディング連盟

役 員 ・大会委員長 中野 春生 ・実行委員長 山口 秀美 ・競技委員長 古郷 誠
・大会事務局 鶴 昌一（連絡先 090-3415-4892）

グライダー山スカイスポーツ倶楽部 顧問 中野 春生
スカイクルーズ 会長 山口 秀美

グラスフィールドカップ
第十回 久留米市長杯in グライダー山 '2012大会要綱

2012.01.31

- 主 催 グライダー山スカイスポーツ倶楽部
- 共 催 草野町町づくり振興会・スカイクルーズ／空狂's
- 後 援 久留米市・久留米観光コンベンション国際交流協会
 草野町商工振興会・草野校区コミュニティセンター
 公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟
 福岡県ハング・パラグライディング連盟
- 開催地 草野町 耳納連山グライダー山エリア（福岡県久留米市草野町）
- 日 時 4月 日（日） 8：30受付開始
- 参加費 2,000円（食事・飲物は各自ご用意下さい）
- 参加資格 JHF／NP証以上または教員推薦を有するフライヤー登録有効者で
 高々度フライト及びいかなるランディング状況場所に於いても、共に安全かつ
 確実に出来る者
- 競技内容 シークレットパイロン（天候により変更あり）
- 参加方法 4月 日（土）までに所定のネットエントリー若しくはスカイクルーズ事務局
 に参加の意思を連絡し所定のエントリー受付を済ませる事
- 参加締切 定員40名になり次第締切り、但し定員に満たない場合は当日受付終了時間
 （9：30）まで受付
- 表 彰 久留米市長杯ならびに、JHF賞状と栄誉を授与

■タイム・スケジュール

08：30	受付開始	（倶楽部ハウス駐車場）
09：30	受付終了後、開会式及び競技内容の説明	（ランディング・ゾーン）
10：00	テイクオフへ移動	（送迎車で移動）
10：30	ゲートオープン	（ダミーテイクオフ）
16：00	ゲートクローズ	（各所撤収準備）
16：30	ランディングクローズ	（各所撤収）
17：00	成績発表、表彰及び閉会式	（倶楽部ハウス駐車場）

■大会運営委員

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| *総合ディレクター | *撮影係り |
| *MLDディレクター | *MLDサポーター |
| *TOディレクター | *TOサポーター |
| *SLDディレクター | *SLDサポーター |
| *送迎車両係り | |
| *記録係り | （総合） |
| *救急班 | ほか |

■補 足

- *事故など一切の責任は事の如何に関わらず選手個人の責に帰するものとし
 エントリー用紙に自署した時点でこれに選手自身が同意したものと認定致します。
- *TOでラインチェック等のスペースが有りませんので、セットアップできる状態での参加
 若しくはLDにてセットアップしてTOをお願いします。
- *エリア規則等詳しい事はホームページまたは大会ホームページをご覧ください。
- *連絡先 スカイクルーズ事務局 鶴 昌一 090-3415-4892

競 技 規 則

2012.01.31

■フライトについて

- *フライト回数は2回とし、リフライトの場合は前回のフライトポイントは無くなります
ただしフリーフライトの宣言をすればこの限りでは有りません
- *1本目のフライトは10番目の選手がテイクオフして1時間（競技委員長の判断にて前後する）以内に完了しなければならない その後競技委員長がリフライト開始の宣言をします
- *TOで風速5m/sを超える時 その他競技委員長が危険と判断した時は競技の中断若しくは中止をする事が出来るものとします
- *ランディング直前の危険行為等は各LDディレクターが判断しその時点で失格とします
- *雲中飛行は競技委員長が判断しその時点で失格とします
- *飛行中の優先権はJHFフライト規約に準じます

■大会の成立

- *ゲートクローズまでに参加選手中10名以上がフライトすれば成立したものとします

■タスクの説明

- *5ヶ所のシークレットパイロンを確認しM・SLDゾーンにセーフティランディングする

■得 点

- *MLD/100点 SLD/100点 各パイロン/100点
但し サブにランディングした時のパイロンの得点は総て半分になります
- *メイン サブLDゾーン内以外（アウトサイド）での着地は総て得点無しとします。

■順位の決定

- *1フライトの得点順位 同得点の場合フライト時間の短い方を上位とします
- *フライト時間は各LDの記録員に選手自身が帰着申告をした時点での計測とします

■不服申し立て（コンプレイン）

- *クレームは事の如何に関らず一切受け付けをしない
- *グライダー山エリア規則を熟読・理解のうえフライトして下さい

■通信機器

- *大会の運営は簡易型デジタル無線機器（合法無線）及び省電力無線機器を用い運用する
- *以外の通信機器は合法的かつ安全確保上の問題に置いてのみしか使用できない

■各ポイント間直線距離（km）

- *回収送迎は TO~MLD~SLDを結ぶ道路上のみです
- *尚 回収送迎の最終は15:00頃ですのでご注意ください

	TO	発心城址	さざんか山	MLD	倶楽部ハウス	小学校	河川敷	SLD
TO		1.2	0.8	2.7	3.4	4.5	6.2	6.2
発心城址	1.2		1.8	3.0	3.8	4.7	6.2	6.2
さざんか山	0.8	1.8		2.8	3.4	4.6	6.2	6.2
MLD	2.7	3.0	2.8		0.8	1.8	3.4	3.5
倶楽部ハウス	3.4	3.8	3.4	0.8		1.3	2.8	2.9
小学校	4.5	4.7	4.6	1.8	1.3		1.6	1.7
河川敷	6.1	6.2	6.2	3.4	2.8	1.6		0
SLD	6.2	6.2	6.2	3.5	2.9	1.7	0	